

KENWOOD

デュアルサイズMD/CDレシーバー

DPX-6000MD

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド

KENWOOD CORPORATION

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室（東京）電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
（大阪）電話(06)6357-5335 〒534-0024 大阪市都島区東野田町1-20-5（大阪京橋第一生命ビル）
（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。



この製品は、ドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの
米国および外国特許に基づく許諾製品です。

© B64-1474-00 (JW)

CONTENTS

■ 安全上のご注意	3
■ 使用上のご注意	6
■ 操作のしかた	
ALL MODE 〈共通機能〉	10
電源オン、電源オフ、ボリューム、アッテネーター、ラウドネス	10
ソースモード選択、時計表示、時計調整	11
オーディオコントロール	12
メニューモード設定	13
▲ TUNER MODE 〈FM/AM放送を聴く〉	14
チューニング	14
表示モード切り替え、チューナーメモリー、オートメモリー	15
トラフィックインフォメーション	16
ステーションネームプリセット	17
セレクトバイファイル	18
メニューモード設定	19
■ MD MODE 〈MDを聴く〉	20
MDプレイポーズ、イジェクト	20
トラックサーチ、トラックリピートプレイ、トラックスキップ	21
トラックランダムプレイ、表示モード切り替え	22
MDタイトルスクロール	23
● CD MODE 〈CDを聴く〉	24
CDプレイポーズ	24
イジェクト、トラックサーチ、トラックリピートプレイ、トラックスキップ	25
トラックランダムプレイ、表示モード切り替え	26
ディスクネームプリセット	27
● DISC CHANGER MODE 〈CD/MDチェンジャーにセットされているディスクを演奏する〉	28
ディスクプレイポーズ	28
トラックサーチ、ディスクサーチ、トラックリピートプレイ、ディスクリピートプレイ	29
トラックスキップ、ディスクスキップ、トラックランダムプレイ	30
マガジンランダムプレイ、表示モード切り替え	31
ディスクネームプリセット	32
セレクトバイファイル	34
タイトルスクロール	35
▲ DSP/EQUALIZER/ANALYZER CONTROL 〈DSP/イコライザー/アナライザーを調整する〉	36
DSP、サウンドフィールド設定	36
イコライザー設定、スペクトラムアナライザー選択、デモンストレーション	37
■ 接続のしかた	38
■ 取り付けかた	40
■ ヒューズ交換のしかた	41
■ 故障かな?と思ったら	42
■ 保証とアフターサービス	46
■ 仕様一覧	47

本取扱説明書の表示は説明用に作成したものです。実際とは異なることがあります。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。お読みになった後は必要に応じてご覧になれるように大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

▲記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

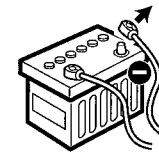
警告



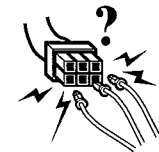
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えすと、火災、その他の事故の原因となります。

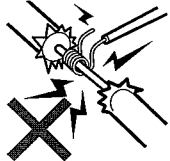


安全上のご注意



禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。



実施

本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



実施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



注意

車体に穴を開けて取り付けの際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因となります。



実施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因となります。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



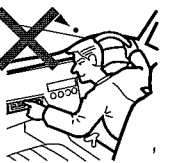
実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



実施

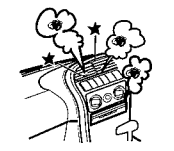
運転者が本製品の操作を行うときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。



禁止

ディスプレイが表示されない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

万一、<異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど>異常が起こりましたら、直ちに使用を中止し、必ず<お買い上げの販売店>にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。



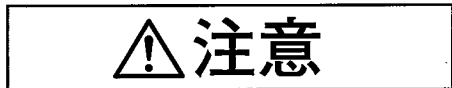
禁止

製品を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。



実施

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。



禁止

ディスク挿入口に指を入れないでください。怪我をすることがあります。



実施

カーオーディオ製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。



禁止

ガラス部品を使用している製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。割れてけがをすることがあります。



注意

本製品の通風口や放熱器をふさがないでください。通風口や放熱器をふさぐと内部が高温になり、火災の原因になることがあります。



禁止

別売品のリモコンには指定以外の電池を使用しないでください。また、電池の入れ替えは極性に注意し指示通りに行ってください。乾電池の破裂、液漏れなどにより、火災や怪我の原因となることがあります。



禁止

本製品を車載用として以外の用途では使用しないでください。

使用上のご注意

本機に接続できるディスクチェンジャーについて

KDC-C310, KDC-C306, KDC-C210, KDC-C206, KDC-C110, KDC-C106, KDC-C11, KDC-C10, KMD-C30およびKMD-C80は直接接続することができます。

KDC-C200, KDC-C300, KDC-C301, KDC-C50、またはKDC-C55を接続するときは、別売品の"CA-DS100"が必要です。別途お買い求めください。また、C705i、C705sr、MD6、MD66を接続するときは、別売品の"CA-KD20"が必要です。別途お買い求めください。

CD/MDチェンジャースイッチングユニット"KCA-S210A"を使用するとディスクチェンジャーを2台接続することができます。接続等詳しい説明はKCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

O-N切り替えスイッチのあるディスクチェンジャーを接続している場合はO-Nスイッチを"N"側に設定してください。"O"側に設定すると正しく動作しません。2台以上接続する場合のO-Nスイッチの設定については接続する機種種の取扱説明書もあわせてご覧ください。

上記以外のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは、本機に接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

接続している機種により、使用できる機能が異なる場合があります。

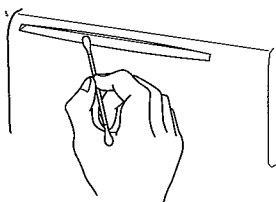
取り付け時の注意

直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

セットのお手入れについて

本機のパネルが汚れたときは、シリコンクロスかやわらかい布でからぶきしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものでふくと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

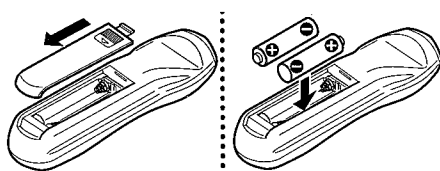
ディスク挿入口は、ホコリがたまりやすいので、時々掃除してください。ホコリがたまった状態でCDを挿入するとCDにキズが付くことがあります。



別売品リモコンについて

別売品のリモコン"KCA-RC600"をご使用になると、リモコンで本機の操作ができます。ただし、0~9ボタンと*(アスタリスク)ボタンは使用できません。

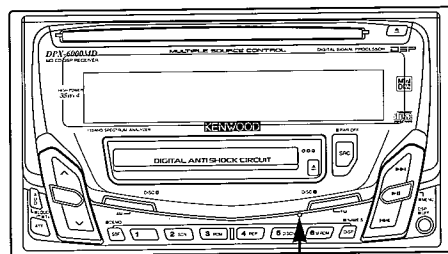
リモコンに付属の乾電池(単四型2本)は⊕⊖の向きを正しく合わせて入れてください。



操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、乾電池が消耗していることが考えられます。このような場合は、2個とも新しい乾電池と交換してください。新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用すると、液漏れなどによる故障の原因になります。

セットの異常にお気づきのときは

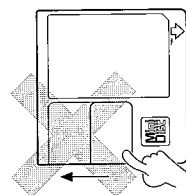
万一、セットの異常にお気づきのときは、まず本機のリセットボタンをペン先などで押してください。それでも正常に戻らないときは、そのままの状態で購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へお問い合わせください。



リセットボタン

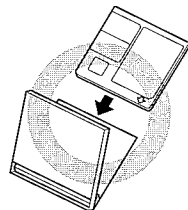
MDのシャッターについて

MDのシャッターは開けられないようになっています。無理に開けるとカートリッジが破損して使用できなくなります。シャッターが何らかの原因で開いてしまったときには、記録部分に指が触らないようにしてください。記録部分に触れると使用できなくなったり、音飛びを頻繁に起こすようになります。



MDの保管について

MDを長時間本機に入れたままにしないでください。また、取り出したMDは、MD専用ケースに入れて保管してください。



MDのお手入れ

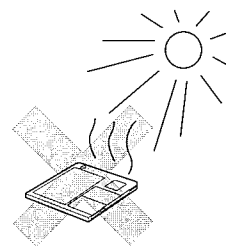
カートリッジ表面の汚れや、ゴミは乾いた布で拭き取ってから使用してください。特に油污れが付いた状態で使用しますと、ディスクがローディングされなかったり、取り出せなくなることがあります。(お手入れの際、シャッターを開かないようご注意ください。)

ラベルのはがれかかったMDは

ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。ラベルが浮いていたり、はがれかかっているMDを使用すると、本機の中ではがれて取り出せないなど故障の原因となります。

高温に注意

MDを直射日光の当たる場所(ダッシュボードの上など)など温度が高くなるような場所に放置しないでください。MDのカートリッジが変形して使用できなくなります。



データ用のMDについて

データ用のMDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。故障の原因になります。

使用上のご注意

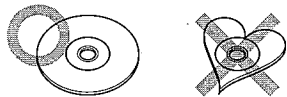
使用できないCD

記録面や、ラベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけるとCDが取り出せなくなったり、故障することがあります。



特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



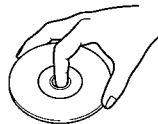
記録面（ラベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

CDマークの付いているCD以外は使用できません。

CDの取扱について

CDの汚れや、ゴミ、きず、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。

取り扱いには、記録面に触れないようにします。ラベルが印刷されていない面が、記録面です。



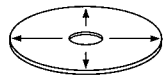
CDの保存

直射日光が当たる場所（シートやダッシュボードの上）など、温度が高い場所には置かないでください。

長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出して、ケースに入れて保管してください。きず、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

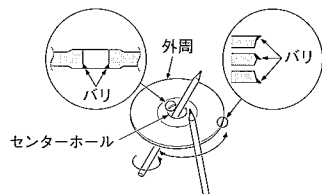
CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや、やわらかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふきとってください。従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



新しいCDを使うときは

新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、CDが挿入できなかったり音とびの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。

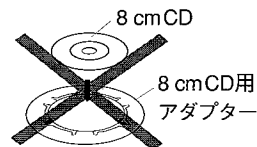


CD用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。



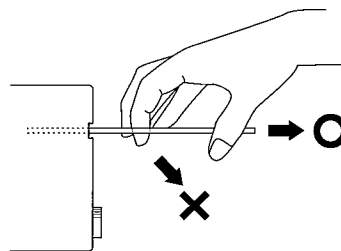
市販の8cmCD用のアダプターも使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。本機で8cmCDを使用する際にアダプターは必要ありません。また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売品の8cmCD用マガジンをご使用ください。



CDの取り出しかた

本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。

下側に強く押しながら引き出すとCD記録面に傷をつける原因となります。



結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、本機内部に露（水滴）がつくことがあります。これを結露といい、この状態ではCDやMDの読み取りができなくなることがあります。

このような場合は、CDやMDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へお問い合わせください。

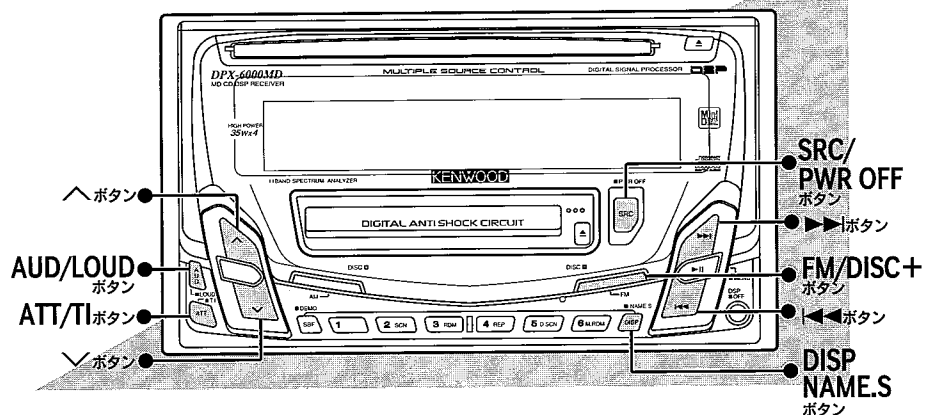
温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてCDやMDの演奏ができなくなります。このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

ALL MODE

ALL MODE



電源オン — 電源を入れる —

SRC/PWR OFF ボタンを押すと電源がオンになります。

◆ MEMO ◆

前に電源をオフしたときのソースモードになります。

電源オフ — 電源を切る —

SRC/PWR OFF を 1 秒以上押すと電源がオフになり、画面表示が全て消えます。

ボリューム — 音量を調整する —

↑ ボタンを押すごとに、音量が大きくなります。
↓ ボタンを押すごとに、音量が小さくなります。



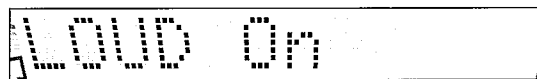
アッテネーター — 音量をすばやく小さくする —

ATT/TI ボタンを押すごとにアッテネーターがオン/オフします。
オンすると“ATT On”と表示され、ATTインジケータが点滅して音量が瞬時に小さくなります。



ラウドネス — 小音量時にメリハリのある音質にする —

AUD/LOUD ボタンを 1 秒以上押すごとにラウドネスがオン/オフします。
オンすると“LOUD On”と表示され、LOUDインジケータが点灯して高音と低音が強調された音質になります。



◆ MEMO ◆

チューナーは低音のみ強調された音質になります。

ソースモード選択 — 聴きたいソースに切り替える —

SRC/PWR OFF ボタンを押すごとにソースモードが下記の順に表示されます。

- ↓ TUNER (TUNER MODE: FM/AM 放送を聴くモード)
- ↓ MD (MD MODE: MD 演奏を聴くモード)
- ↓ CD (CD MODE: CD 演奏を聴くモード)
- ↓ DISC-CH (DISC CHANGER CONTROL MODE: ディスクチェンジャー演奏を聴くモード)
- ↓ AUX INPUT (AUX MODE: KCA-S210A 接続時に AUX 音声 を聴くモード)
- ↓ ALL OFF (電源オンのまますべての機能を一時的に停止させるモード)

選択しているモードは表示で確認できます。

◆ MEMO ◆

- 使用できるモードは接続している機種により異なります。
- ディスクが入っていないときやディスクチェンジャーが接続されていないときは、そのモードには切り替わりません。
- ディスクチェンジャーを 2 台接続しているときの DISC CHANGER CONTROL MODE は「DISC-CH1」、「DISC-CH2」の順で切り替わります。

例) チューナーモードを選択したとき:



時計表示 — ALL OFF モード中に時計を表示する —

DISP/NAME.S ボタンを押すごとに、時計表示のオン/オフができます。



◆ MEMO ◆

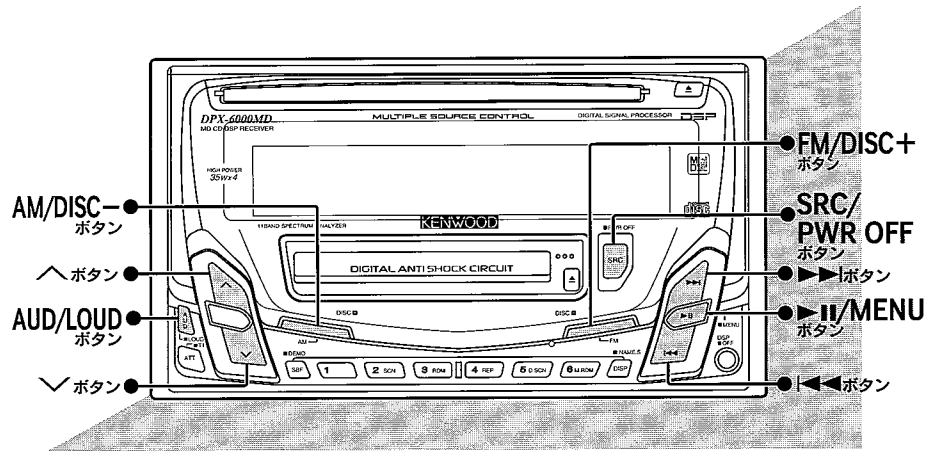
本機の電源がオフのとき、および車両のエンジンキーがオフのときに時計は表示できません。

時計調整 — 時刻を合わせる —

1. DISP/NAME.S ボタンを押して、時計を表示させます。
2. DISP/NAME.S ボタンを押しながら ← ボタンを押すと“時”、→ ボタンを押すと“分”が調整できます。押し続けると連続して時間が変わります。
DISP/NAME.S を押しながら FM/DISC+ ボタンを押すと、分が“00”になります。

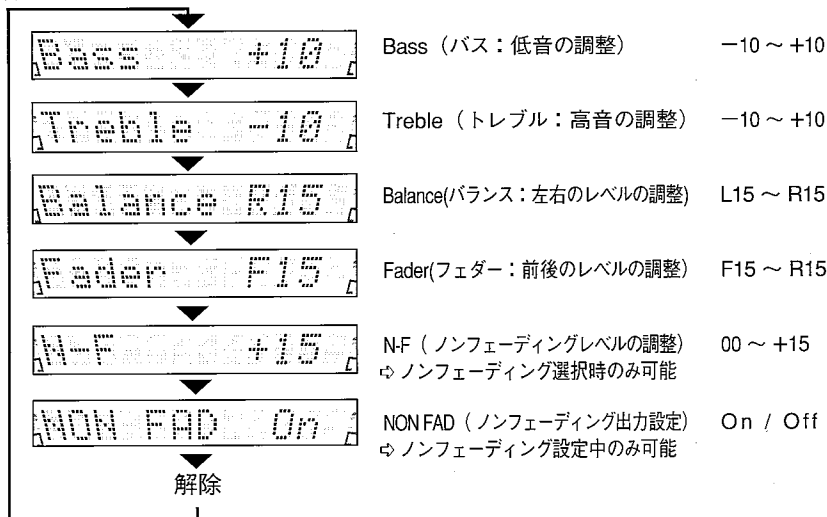
例: 10:00~10:29⇒10:00
10:30~10:59⇒11:00

ALL MODE



オーディオコントロール - 音質とレベルの設定 -

1. AUD/LOUDボタンを押すとオーディオコントロールモードになります。
2. AUD/LOUDボタンを押すごとに調整モードが下記の順に切り替わります。
3. 各モード中にへボタンおよび∨ボタンを押すと、音質とレベルが調整できます。



MEMO

- ノンフェーディング出力はフェーダーの調整には影響されない出力です。主にサブウーファー用出力として使用します。
- ノンフェーディングレベルの調整は、フロント/リアスピーカーとの音量差を調整する機能です。ノンフェーディングレベルをプラス(+)に調整すると、プラスに設定した分のフロント/リアスピーカーの音量が小さくなります。この後ボリューム調整を行って、フロント/リアスピーカー音量を元の大きさにすることにより、ノンフェーディング出力のレベルを大きくできます。

MEMO

- 低音と高音の音質は、各ソース (FM、AM、MD、CD、DISC CHANGER) ごとに設定ができます。
- 5秒間以上何も操作しないとオーディオコントロールモードは自動的に終了します。

メニューモード設定

—スペクトラムアナライザー表示/ディマー/操作確認音/プリアウトの設定—

1. SRC/PWR OFFボタンを押して“ALL OFF”を表示させ、ALL OFFモードにします。



2. Ⅱ/MENUボタンを1秒以上押します。“Function Set”と表示され、メニューモードになり、MENUインジケータが点灯します。



3. Ⅰ<<ボタンまたは>>Ⅰボタンを押して設定モードを選択します。

>>Ⅰボタンを押すと、下記表の順に設定モードが切り替わり、Ⅰ<<Ⅰボタンを押すと逆の順に設定モードが切り替わります。

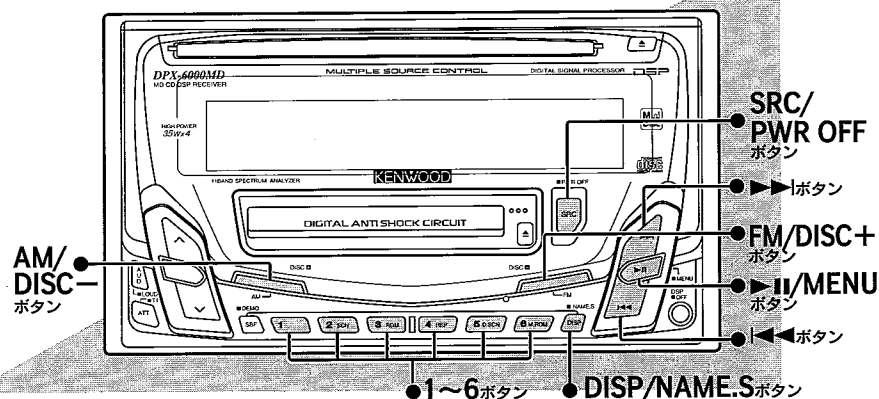
4. FM/DISC+ボタンまたはAM/DISC-ボタンを押して、各モードの設定を行います。FM/DISC+ボタン、AM/DISC-ボタンを押すたびに各モードでの設定が切り替わります。

設定モード	表示	設定内容/設定状態
スペクトラムアナライザーグループの設定	ANA. Silence	緩やかな動きのスペアナグループ
	ANA. Standard	中間の早さのスペアナグループ
	ANA. UP-Beat	スピード感のある動きのスペアナグループ
ディマー	DIM STEP 1 ~ DIM STEP 5	車のライトスイッチをオンにしたときの、本機ディスプレイの減光量を設定できます。 DIM STEP 1 [暗い] ~ DIM STEP 5 [明るい]
	操作確認音	BEEP On または BEEP Off 本機を操作したときに鳴る確認音のオン/オフ設定ができます。 BEEP On : 操作確認音が鳴ります。 BEEP Off : 操作確認音は鳴りません。
プリアウト	Preout N-F または Preout Rear	本機プリアウト出力の設定ができます。 Preout N-F : プリアウトがノンフェーディング出力になります。 Preout Rear : プリアウトがリア出力になります。

5. Ⅱ/MENUボタンを押して、メニューモードを終了します。

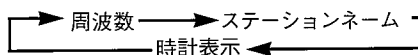
TUNER MODE

TUNER MODE



表示モード切り替え —表示を切り替える—

DISP/NAME.Sボタンを押すごとに、表示が以下の順に切り替わります。



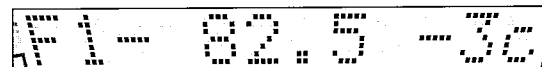
◆ MEMO ◆

ステーションネーム (P.17) を登録していない放送局を受信中にステーションネーム表示にすると、“No Name” と表示されます。

チューナーメモリー —受信している放送局を記憶させる—

● 放送局をメモリーする

放送局を受信中に、1~6ボタンのいずれかを2秒以上押します。押したボタンに現在聴いている放送局がメモリーされ、ボタンNo.が表示されます。“F1”、“F2”、“A1”、および“A2”の各バンドで1~6ボタンにメモリーできます。



● メモリーした放送局を呼び出す

バンドを選んで、1~6ボタンのいずれかを押すと、ボタンNo.にメモリーした放送局を受信します。

チューニング —FM/AM放送を聴く—

- SRC/PWR OFFボタンを押して、“TUNER” と表示させ、TUNERモードにします。
- FM/DISC+ボタンまたはAM/DISC-ボタンを押して、バンドを選びます。
FM/DISC+ボタンを押すごとに、FMバンドの“F1”と“F2”とに切り替わります。
AM/DISC-ボタンを押すごとに、AMバンドの“A1”と“A2”とに切り替わります。
- オートチューニングに設定されているとき (AUTO 1インジケータ点灯時)
 - ◀◀ボタンを押すと、周波数の低い方の受信可能な放送局を自動的に探して受信します。
 - ▶▶ボタンを押すと、周波数の高い方の受信可能な放送局を自動的に探して受信します。
- プリセットステーションシークチューニングに設定されているとき (AUTO 2インジケータ点灯時)
 - ◀◀ボタンを押すと、プリセット番号の小さい方へ切り替わります。
 - ▶▶ボタンを押すと、プリセット番号の大きい方へ切り替わります。
- マニュアルチューニングに設定されているとき (AUTOインジケータ消灯時)
 - ◀◀ボタンを押すと、受信周波数が1ステップ下がります。
 - ▶▶ボタンを押すと、受信周波数が1ステップ上がります。

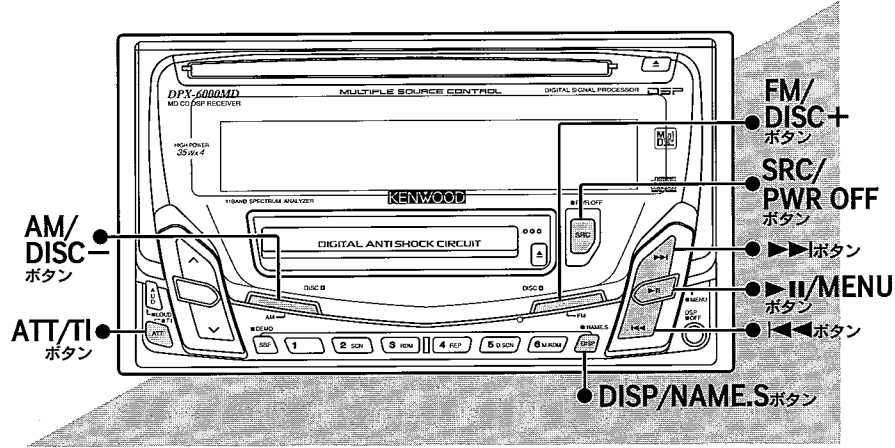
◆ MEMO ◆

- AM放送のステレオ放送は、モノラル音声になります。
- オートチューニング、プリセットステーションシークチューニング、マニュアルチューニング設定の切り替え方はメニューモード設定(P.19)をご覧ください。
- FMステレオ放送を受信するとSTインジケータが点灯します。

TUNER MODE

TUNER MODE

TUNER MODE

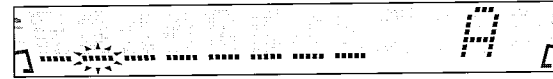


ステーションネームプリセット —放送局に名前を付ける—

1. 名前を付けたい放送局(周波数)を受信します。
2. DISP/NAME.Sボタンを2秒以上押すと、“Name Set”と表示され、ステーションネームプリセットモードになります。



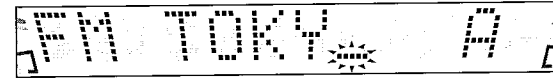
3. ◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押して、文字を入力したい位置に点滅しているカーソルを移動させます。



4. ▶II/MENUボタンを押すごとに入力できる文字種がA(英大文字/数字/記号)⇔a(英小文字/数字/記号)⇔ア(カタカナ/数字/記号)の順に替わります。



5. FM/DISC+ボタンまたはAM/DISC-ボタンで入力する文字を選びます。
3~5の操作を繰り返してステーションネームを完成させます。

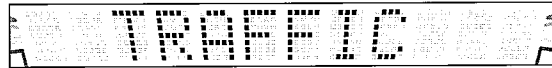


◆ MEMO ◆

- 時計表示中はステーションネームプリセットモードに切り替えることはできません。
- FM/DISC+ボタンまたはAM/DISC-ボタンを押し続けると文字を連続して切り替えることができます。
- カタカナの小文字はカタカナの大文字が全て表示された後に表示されます。
- 入力できる記号は /、+、-、*、=、<、>、[,] です。
- 入力できる文字数は8文字までです。
- スペースを入れる場合は、各文字種をスクロールして文字の無いところでカーソルを移動してください。

トラフィックインフォメーション —ワンタッチで交通情報局を受信する—

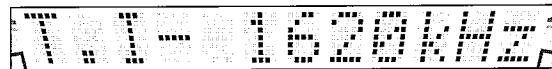
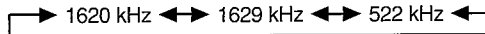
- 交通情報を聴く
ATT/TIボタンを1秒以上押すごとに、交通情報機能がオン/オフします。
オンにすると“TRAFFIC”と表示され、交通情報局を受信します。



◆ MEMO ◆

SRC/PWR OFFボタンを押しても交通情報機能をオフにできます。

- 周波数を切り替える
◀◀または▶▶ボタンを押すごとに、周波数が下記のように切り替わります。



6. DISP/NAME.Sボタンを押すと、聴いている放送局に名前が登録され、ステーションネームプリセットモードが終了します。

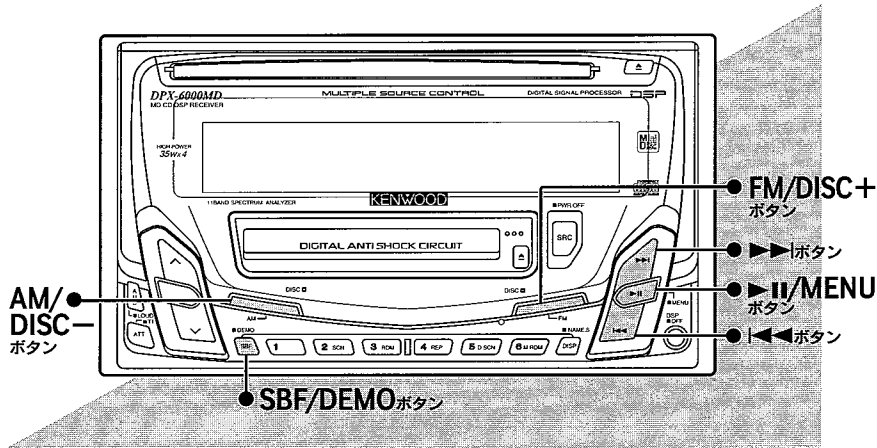
◆ MEMO ◆

- 10秒間操作を行わないと、入力したところまでの文字がメモリーされステーションネームプリセットモードは解除されます。
- ステーションネームを登録できる放送局数はFM/AM合わせて30局までです。31局目のステーションネームプリセットを行うと、1局目にステーションネームプリセットした放送局名が自動的に消されます。
- ステーションネームを変更したいときは、放送局を受信した後、再度2~5の操作を行えば以前に付けた名前は消えて、新たに付けた名前が記憶されます。
- リセットボタンを押してもステーションネームは消えません。

TUNER MODE

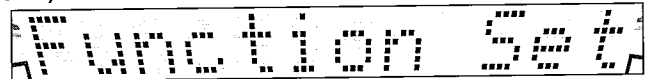
TUNER MODE

TUNER MODE



メニューモード設定 - オートメモリー/チューニング設定/受信方法の設定 -

1. **II/MENU** ボタンを1秒以上押して、“Function Set”と表示させ、メニューモードにします。



2. **◀▶** ボタンまたは **▶▶** ボタンを押して設定モードを選択します。
▶▶ ボタンを押すと、下記表の順に設定モードが切り替わり、**◀▶** ボタンを押すと逆の順に設定モードが切り替わります。
3. **FM/DISC+** ボタンまたは **AM/DISC-** ボタンを押して、各モードの調整を行います。
FM/DISC+ ボタン、**AM/DISC-** ボタンを押すたびに各モードでの設定状態が切り替わります。

設定モード	表示	設定状態
オートメモリー	AME Ready	オートメモリーが開始可能な状態です。 FM/DISC+ボタンまたはAM/DISC-ボタンを2秒以上押すとオートメモリーが始まります。 詳しくはP.15のオートメモリーをご覧ください。
チューニング設定	Auto 1 Seek	オートチューニングに設定されています。 (AUTO1インジケータ点灯)
	Auto 2 Seek	プリセットステーションシークチューニングに設定されています。 (AUTO2インジケータ点灯)
	Manual Seek	マニュアルチューニングに設定されています。
モノラル受信	MONO On	FMの音声を強制的にモノラルにできます。モノラル音声にすると雑音を小さくできます。
	MONO Off	MONO On：強制モノラル受信機能がオンに設定されています。(mc インジケータ点灯) MONO Off：強制モノラル受信機能がオフに設定されています。

セレクトバイファイル - メモリーしている放送局から探す -

1. **SBF/DEMO** ボタンを押します。
“SBF SNPS”と表示され、SBFインジケータが点灯し、メモリーされている放送局の周波数を5秒間ずつ順に表示します。ステーションネームを登録している放送局はステーションネームで表示されます。



◆ MEMO ◆

- **▶▶** ボタンを押すごとに早送り表示、**◀▶** ボタンを押すごとに早戻し表示ができます。
- **FM/DISC+** または **AM/DISC-** ボタンを押すとセレクトバイファイルするバンドをすぐに切り替えることができます。

2. 聴きたい放送局が見つかったら、**SBF/DEMO** ボタンを押します。
選択した放送局を受信します。

◆ MEMO ◆

途中で解除するときはSBF/DEMOボタンを1秒以上押します。

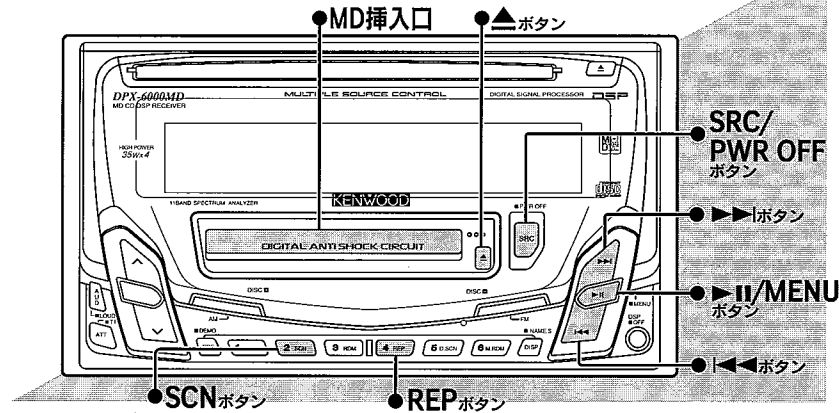
4. **II/MENU** ボタンを押して、メニューモードを終了します。

◆ MEMO ◆

モノラル受信機能の設定はFMバンド選択時のみ可能です。

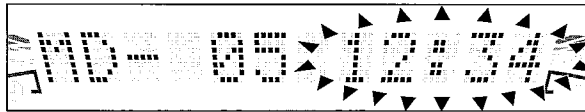
TUNER MODE

MD MODE



MDプレイ/ポーズ — MDを演奏する —

- MDが入っていないとき (IN インジケータが消灯時)
MDをラベル面を上にしてMD挿入口に差し込むと“MD”と表示され、 IN インジケータが点灯してMDプレイが始まります。
- MDが入っているとき (IN インジケータが点灯時)
SRC/PWR OFFボタンを押して“MD”と表示され、MDモードになり、MDの演奏が始まります。
- MD演奏を一時停止する
MDプレイ中に▶II/MENUボタンを押すと、演奏時間表示が点滅して、MDプレイが一時停止になります。
再度▶II/MENUボタンを押すとMDプレイが始まります。



イジェクト — MDを取り出す —

▲ボタンを押すと、MDが出てきます。

トラックサーチ — 聴きたい曲を選ぶ —

- 先の曲を選ぶ
▶▶ボタンを押すごとに先の曲へトラックサーチします。
▶▶ボタンを押し続けると聴いている曲を早送りします。
- 現在の曲を最初から聴く/手前の曲を選ぶ
◀◀ボタンを押すと現在聴いている曲の先頭へ押しすごとに手前の曲へトラックサーチします。
◀◀ボタンを押し続けると聴いている曲を早戻しします。

トラックリピートプレイ — 同じ曲を繰り返し聴く —

REPボタンを押すごとにトラックリピートプレイがオン/オフします。
オンになると“Repeat”と表示されます。トラックリピートプレイ中はREPインジケータが点灯し、聴いている曲を繰り返し演奏します。



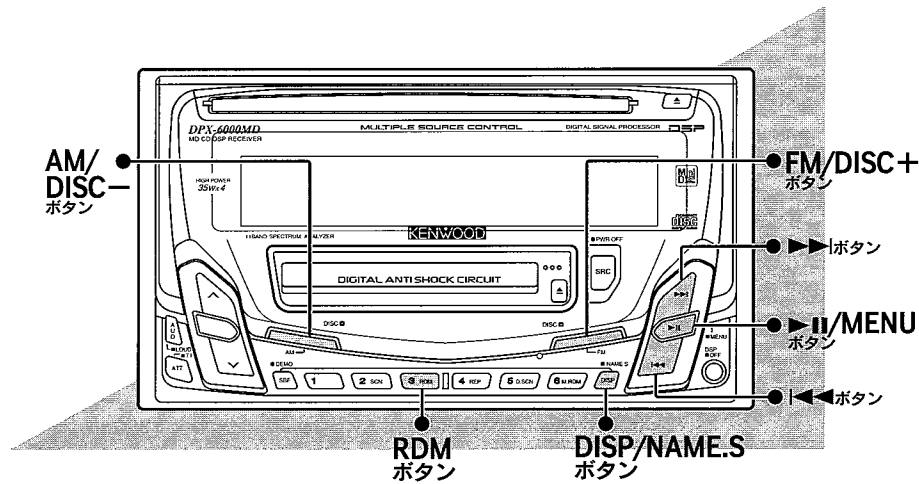
トラックスキャンプレイ — 聴きたい曲を探す —

SCNボタンを押すごとにトラックスキャンプレイがオン/オフします。
オンになると“Track Scan”と表示されます。トラックスキャンプレイ中はSCNインジケータが点灯し、聴いているディスクの各曲の先頭部分を10秒間ずつ演奏します。
聴きたい曲が見つかったらSCNボタンまたは▶II/MENUボタンを押します。



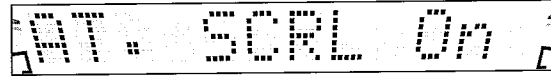
◆ MEMO ◆

すべての曲をスキャンすると自動的にトラックスキャンプレイはオフになります。



MDタイトルスクロール - MDタイトルをスクロール表示させる -

1. DISP/NAME.Sボタンを押して、ディスクタイトルまたはトラックタイトル表示にします。
2. ▶II/MENUボタンを1秒以上押し、メニューモードにします。メニューモードになると“Function Set”と表示されます。
3. FM/DISC+ボタンまたはAM/DISC-ボタンを押すごとに、MDタイトルスクロール機能がオン/オフします。オンにすると“AT. SCRL On”と表示され、約5秒毎にMDタイトル表示がスクロールします。



4. ▶II/MENUボタンを押して、メニューモードを終了します。

トラックランダムプレイ - 聴いているMDから自動的に曲を選ばせて演奏する -

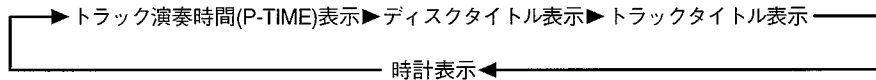
RDMボタンを押すごとにトラックランダムプレイがオン/オフします。オンにすると“Random”と表示されます。トラックランダムプレイ中はRDMインジケータが点灯し、自動的に曲を選んで演奏します。



▶▶ ボタンを押すと他の曲を選んで自動的に演奏します。

表示モード切り替え - 表示を切り替える -

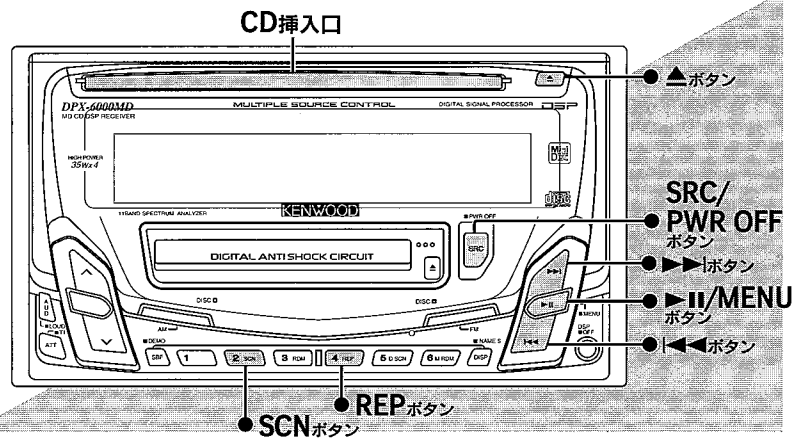
DISP/NAME.Sボタンを押すごとに、下記のように表示が切り替わります。



❖ MEMO ❖

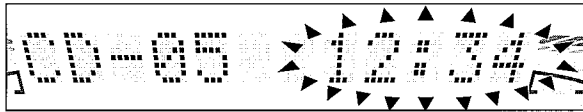
ディスクタイトルとトラックタイトルが登録されていないMDを演奏中に、ディスクタイトルまたはトラックタイトル表示にすると“No Title”と表示されます。

CD MODE



CDプレイ/ポーズ - CDを演奏する -

- CDが入っていないとき (IN インジケータが消灯時)
CDをラベル面を上にしてCD挿入口に差し込むと“CD”と表示され、IN インジケータが点灯してCDプレイが始まり、トラックNo.と演奏時間が表示されます。
- CDが入っているとき (IN インジケータが点灯時)
SRC/PWR OFFボタンを押して“CD”と表示されると、CDモードになり、CDの演奏が始まります。
- CD演奏を一時停止する
CDプレイ中に▶II/MENUボタンを押すと、演奏時間表示が点滅して、CDプレイが一時停止になります。
再度▶II/MENUボタンを押すとCDプレイが始まります。



△ 注意

8cmCDはアダプターを使用せずそのまま差し込んでください。12cmCDと同じようにそのまま演奏できます。8cmCD用アダプターを使用すると誤動作や故障の原因になります。

イジェクト - CDを取り出す -

▲ボタンを押すと、CDが出てきます。

◆ MEMO ◆

他ソース中や電源オフ中でもイジェクトできます。

トラックサーチ - 聴きたい曲を選ぶ -

- 先の曲を選ぶ
▶▶ボタンを押すごとに先の曲へトラックサーチします。
▶▶ボタンを押し続けると聴いている曲を早送りします。
- 現在の曲を最初から聴く/手前の曲を選ぶ
◀◀ボタンを押すと現在聴いている曲の先頭へ押すごとに手前の曲へトラックサーチします。
◀◀ボタンを押し続けると聴いている曲を早戻しします。

トラックリピートプレイ - 同じ曲を繰り返し聴く -

REPボタンを押すごとにトラックリピートプレイがオン/オフします。
オンになると“Repeat”と表示されます。トラックリピートプレイ中はREPインジケータが点灯し、聴いている曲を繰り返し演奏します。



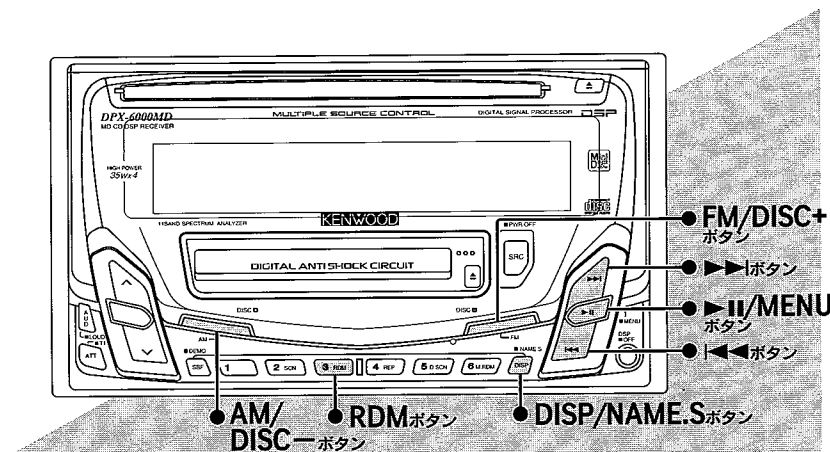
トラックスキャンプレイ - 聴きたい曲を探す -

SCNボタンを押すごとにトラックスキャンプレイがオン/オフします。
オンになると“Track Scan”と表示されます。トラックスキャンプレイ中はSCNインジケータが点灯し、聴いているディスクの各曲の先頭部分を10秒間ずつ演奏します。
聴きたい曲が見つかったらSCNボタンまたは▶II/MENUボタンを押します。



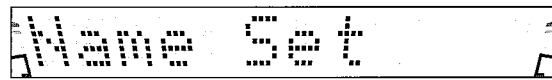
◆ MEMO ◆

すべての曲をスキャンすると自動的にトラックスキャンプレイはオフになります。

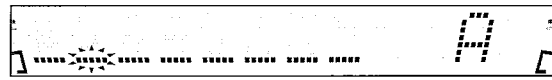


▼ディスクネームプリセット -CDに名前を付ける-

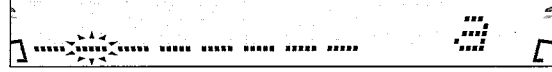
1. 名前を付けたいCDを演奏します。
2. DISP/NAME.Sボタンを2秒以上押しと、“Name Set”と表示され、ディスクネームプリセットモードになります。



3. ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、文字を入力したい位置に点滅しているカーソルを移動させます。



4. ▶II/MENUボタンを押すごとに入力できる文字種がA (英大文字/数字/記号) ⇒a (英小文字/数字/記号) ⇒ア (カタカナ/数字/記号)の順に替わります。



5. FM/DISC+またはAM/DISC-ボタンで入力する文字を選びます。3~5の操作を繰り返してディスクネームを完成させます。



◆ MEMO ◆

- 時計表示中はディスクネームプリセットモードに切り替えることはできません。
- FM/DISC+またはAM/DISC-ボタンを押し続けると文字を連続して切り替えることができます。
- カタカナの小文字はカタカナの大文字が全て表示された後に表示されます。
- 入力できる記号は /、+、-、*、=、<、>、[,] です。
- 入力できる文字数は8文字までです。
- スペースを入れる場合は、各文字種をスクロールして文字の無いところでカーソルを移動してください。

6. DISP/NAME.Sボタンを押すと、聴いているCDに名前が登録され、ディスクネームプリセットモードを終了します。

◆ MEMO ◆

- 10秒間操作を行わないと、入力したところまでの文字がメモリーされディスクネームプリセットモードは解除されます。
- ディスクネームを登録できるCDは10枚までです。11枚目のディスクネームプリセットを行うと、1枚目にディスクネームプリセットしたCD名が自動的に消されます。
- ディスクネームを変更したいときは、CDの演奏を開始した後、再度2~5の操作を行えば以前に付けた名前は消えて、新たに付けた名前が記憶されます。
- ディスクチェンジャーモードでディスクネームプリセットしたディスクを、CDモードで演奏してもディスクネームは表示されません。
- ディスクの識別は総録音時間とトラック数で判断しています。総録音時間もトラック数も同じディスクがあった場合は識別ができなくなります。
- リセットボタンを押してもディスクネームは消えません。

▼トラックランダムプレイ -聴いているCDから自動的に曲を選ばせて演奏する-

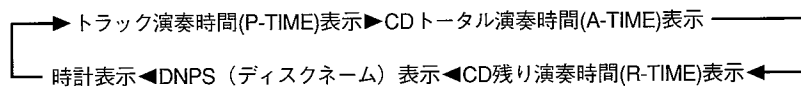
RDMボタンを押すごとにトラックランダムプレイがオン/オフします。オンにすると“Random”と表示されます。トラックランダムプレイ中はRDMインジケータが点灯し、自動的に曲を選んで演奏します。



▶▶ ボタンを押すと他の曲を選んで自動的に演奏します。

▼表示モード切り替え -表示を切り替える-

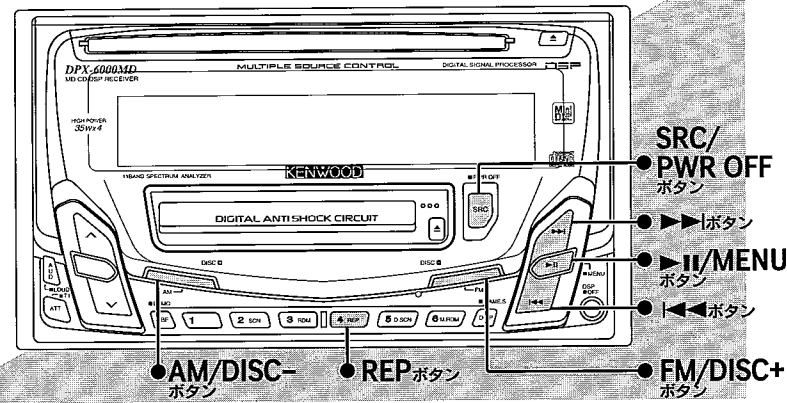
DISP/NAME.Sボタンを押すごとに、下記のように表示が切り替わります。



◆ MEMO ◆

ディスクネームが登録されていないCDを演奏中にディスクネーム表示にすると、“No Name”と表示されます。

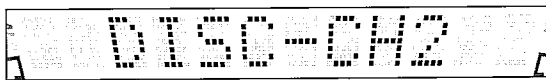
DISC CHANGER MODE



DISC CHANGER MODE

ディスプレイ/ポーズ - ディスクチェンジャーを演奏する -

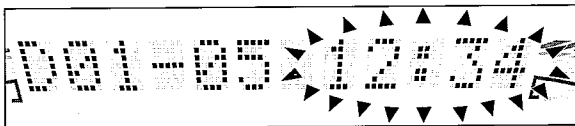
- **ディスクの演奏をする**
SRC/PWR OFF ボタンを押し、DISC-CH” と表示させ、DISC CHANGERモードにすると、ディスクの演奏が始まります。
- **ディスクチェンジャーを2台接続しているとき**
ディスクチェンジャーが2台接続されているときは、ディスクチェンジャーモードが“DISC-CH1”モードと“DISC-CH2”モードとに分かれます。
SRC/PWR OFF ボタンを押し、使用するディスクチェンジャーを選びます。



◆ MEMO ◆

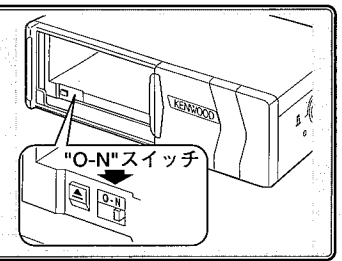
ディスクチェンジャーを2台接続する場合は、別売品のCD/MDチェンジャースイッチングユニット“KCA-S210A”が必要です。

- **ディスク演奏を一時停止する**
ディスプレイ中に▶II/MENUボタンを押すと、演奏時間表示が点滅して、ディスプレイが一時停止になります。
再度▶II/MENUボタンを押すとディスプレイが再開します。



ディスクチェンジャーの“O-N”スイッチについて

- O-N切り替えスイッチのある機種を接続している場合は“O-N”スイッチを“N”側に設定してください。
- CD/MDチェンジャースイッチングユニットKCA-S200を使用して、2台接続する場合は、“O-N”スイッチを“O”側に設定してください。“N”側に設定すると正しく動作しません。



DISC CHANGER MODE

トラックサーチ - 聴きたい曲を選ぶ -

- **先の曲を選ぶ**
▶IIボタンを押すごとに先の曲へトラックサーチします。
▶IIボタンを押し続けると聴いている曲を早送りします。
- **現在の曲を最初から聴く/手前の曲を選ぶ**
◀◀ボタンを押すと現在聴いている曲の先頭へ、押すごとに手前の曲へトラックサーチします。
◀◀ボタンを押し続けると聴いている曲を早戻しします。

ディスクサーチ - 聴きたいディスクを選ぶ -

- **先のディスクを選ぶ**
FM/DISC+ボタンを押すごとに先のディスクへサーチします。
- **手前のディスクを選ぶ**
AM/DISC-ボタンを押すごとに手前のディスクへサーチします。

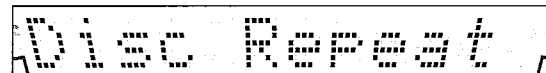
トラックリピートプレイ - 同じ曲を繰り返し聴く -

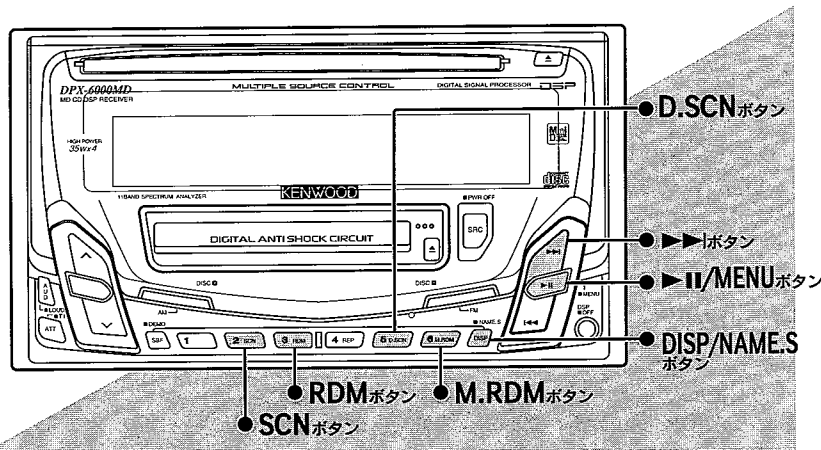
REPボタンを押すごとにトラックリピートプレイがオン/オフします。オンになると“Repeat”と表示されます。トラックリピートプレイ中はREPインジケータが点灯し、聴いている曲を繰り返し演奏します。



ディスクリピートプレイ - 同じディスクを繰り返し聴く -

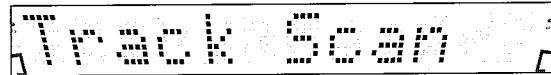
REPボタンを1秒以上押すごとにディスクリピートプレイがオン/オフします。オンになると“Disc Repeat”と表示されます。ディスクリピートプレイ中はD.REPインジケータが点灯し、聴いているディスクを繰り返し演奏します。





トラックスキャンプレイ - 聴きたい曲を探す -

SCNボタンを押すごとにトラックスキャンプレイがオン/オフします。オンになると“Track Scan”と表示されます。トラックスキャンプレイ中はSCNインジケータが点灯し、聴いているディスクの各曲の先頭部分を10秒間ずつ演奏します。聴きたい曲が見つかったらSCNボタンまたは▶▶II/MENUボタンを押します。



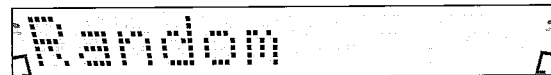
ディスクスキャンプレイ - 聴きたいディスクを探す -

D.SCNボタンを押すごとにディスクスキャンプレイがオン/オフします。オンになると“Disc Scan”と表示されます。ディスクスキャンプレイ中はD.SCNインジケータが点灯し、聴いているディスクの先頭部分を10秒間ずつ演奏します。聴きたいディスクが見つかったらD.SCNボタンまたは▶▶II/MENUボタンを押します。



トラックランダムプレイ - 聴いているディスクから自動的に曲を選ばせて演奏する -

RDMボタンを押すごとにトラックランダムプレイがオン/オフします。オンになると“Random”と表示されます。トラックランダムプレイ中はRDMインジケータが点灯し、自動的に曲を選んで演奏します。▶▶IIボタンを押すと他の曲を選んで自動的に演奏します。



マガジンランダムプレイ - マガジン内のディスクから自動的に曲を選ばせて演奏する -

M.RDMボタンを押すごとにマガジンランダムプレイがオン/オフします。オンになると“M-Random”と表示されます。マガジンランダムプレイ中はM.RDMインジケータが点灯し、自動的に曲を選んで演奏します。▶▶IIボタンを押すと他の曲を選んで自動的に演奏します。



表示モード切り替え - 表示を切り替える -

DISP/NAME.Sボタンを押すごとに、下記のように表示が切り替わります。

● CDチェンジャーの場合

トラック演奏時間(P-TIME)表示
↓
CDトータル演奏時間(A-TIME)表示
↓
CD残り演奏時間(R-TIME)表示
↓
ディスクネーム(DNPS)表示
↓
ディスクタイトル表示
↓
トラックタイトル表示
↓
時計表示

◆ MEMO ◆

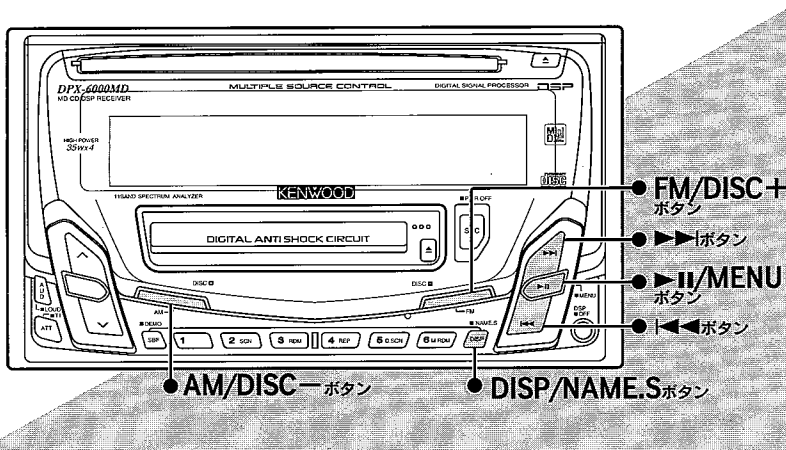
- ディスクネームプリセットされていないディスクはDNPS表示にすると“No Name”と表示されます。
- ディスクタイトル、トラックタイトルが記録されていない場合は“No Text”と表示されます。
- “O-Nスイッチ”を“N”に設定した時のみ、ディスクタイトル、トラックタイトルを表示できます。

● MDチェンジャーの場合

トラック演奏時間(P-TIME)表示
↓
ディスクタイトル表示
↓
トラックタイトル表示
↓
時計表示

◆ MEMO ◆

- ディスクタイトル、トラックタイトルが記録されていない場合は“No Title”と表示されます。
- “O-Nスイッチ”を“O”に設定した場合、カタカナで記録されているディスク/トラックタイトルはカタカナではなくローマ字で表示されます。また、表示できる文字数は8文字までです。
- MD演奏中はトラック演奏時間(P-TIME)のみ表示できます。演奏時間の切り替えはできません。



5. FM/DISC+ ボタンまたはAM/DISC- ボタンで入力する文字を選びます。
3~5の操作を繰り返してディスクネームを完成させます。



◆ MEMO ◆

- 時計表示中はディスクネームプリセットモードに切り替えることはできません。
- FM/DISC+ または AM/DISC- ボタンを押し続けると文字を連続して切り替えることができます。
- カタカナの小文字はカタカナの大文字が全て表示された後に表示されます。
- 入力できる記号は /、+、-、*、=、<、>、[、] です。
- 入力できる文字数は8文字までです。
- スペースを入れる場合は、各文字種をスクロールして文字の無いところでカーソルを移動してください。

6. DISP/NAME.S ボタンを押すと、聴いているディスクに名前が登録され、ディスクネームプリセットモードが終了します。

◆ MEMO ◆

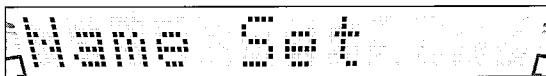
- 10秒間操作を行わないと、入力したところまでの文字がメモリーされディスクネームプリセットモードは終了します。
- ディスクネームを変更したいときは、CDの演奏を開始した後、再度2~5の操作を行えば以前に付けた名前は消えて、新たに付けた名前が登録されます。
- CDモードでディスクネームプリセットしたディスクを、ディスクチェンジャーモードで演奏してもディスクネームは表示されません。
- リセットボタンを押してもディスクネームは消えません。
- ディスクネームを登録できるディスクの枚数は、接続しているCDチェンジャーにより異なります。ディスクネームプリセットできる枚数は以下のとおりです。下記の表に記載されていないCDチェンジャーについては、それぞれのCDチェンジャーに付属の取扱説明書をご覧ください。

CDチェンジャー名	ディスクネームプリセット可能枚数
KDC-C11	30枚
KDC-C110、KDC-C106	50枚
KDC-C310、KDC-C306、KDC-C210 KDC-C206、C705i、C705sr	100枚

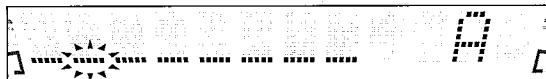
- ディスクの識別は総録音時間とトラック数で判断しています。総録音時間もトラック数も同じディスクがあった場合は識別ができなくなります。
- ディスクネームプリセットはMDにタイトルを記録する機能ではありません。
- MDチェンジャーを選択している場合は、ディスクネームプリセット機能は使用できません。

ディスクネームプリセット -CDに名前を付ける-

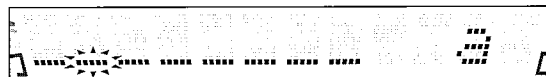
1. 名前を付けたいCDを演奏します。
2. DISP/NAME.S ボタンを2秒以上押すと、“Name Set” と表示され、ディスクネームプリセットモードになります。



3. 左方向ボタンまたは右方向ボタンを押して、文字を入力したい位置に点滅しているカーソルを移動させます。

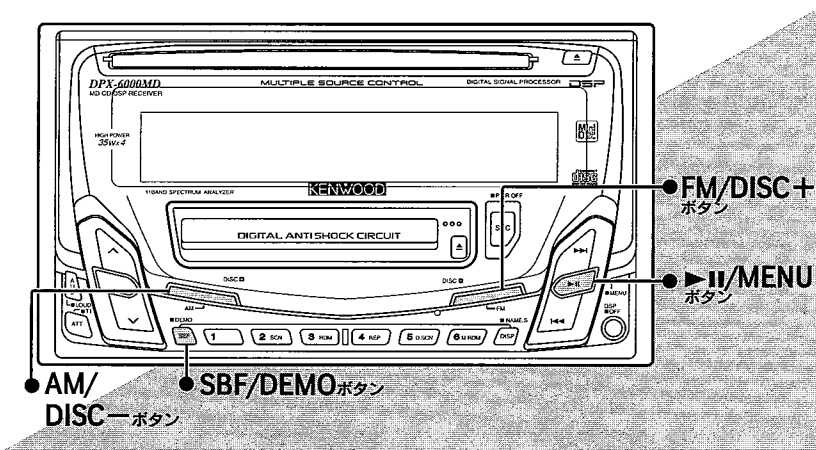


4. 右方向/MENU ボタンを押すごとに入力できる文字種がA (英大文字/数字/記号) ⇨ a (英小文字/数字/記号) ⇨ ア (カタカナ/数字/記号) の順に替わります。



◆ MEMO ◆

文字種が切り替えられるのは、KDC-C310、KDC-C306、KDC-C210、KDC-C206、KDC-C110、およびKDC-C106です。これ以外のディスクチェンジャーでは英大文字のみの登録になります。



タイトルスクロール - タイトルをスクロール表示させる -

1. ||/MENU ボタンを1秒以上押し、"Function Set" と表示させ、メニューモードにします。
2. FM/DISC+ ボタンまたはAM/DISC- ボタンを押すごとに、タイトルスクロール機能がオン/オフします。
オンにすると "AT.SCRL On" と表示され、約5秒毎にタイトル表示がスクロールします。



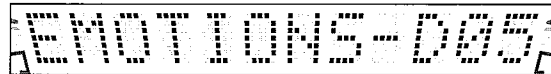
3. ||/MENU ボタンを押して、メニューモードを終了します。

◆ MEMO ◆

"O-Nスイッチ" を "N" に設定して使用している場合のみ、ディスクタイトル、トラックタイトルのスクロール表示ができます。

セレクトバイファイル - ネームプリセットしているディスクから探す -

1. SBF/DEMO ボタンを押します。
"SBF DNPS" と表示され、SBFインジケータが点灯して、ディスクマガジンにセットされているCDのディスクネームを5秒間ずつ順に表示します。



◆ MEMO ◆

- セレクトバイファイル機能が使えるのは、KDC-C310、KDC-C306、KDC-C210、KDC-C206、KDC-C110、およびKDC-C106です。これ以外のディスクチェンジャーでは使用できません。
- FM/DISC+ ボタンを押すごとに早送り表示、AM/DISC- ボタンを押すごとに早戻し表示ができます。
- ディスクネームプリセットされていないディスクは、"No Name" と表示されます。
- ディスクチェンジャーにセットされてから一度も演奏されていないディスクのディスクネームを表示することはできません。 ("No Access" と表示されます)。このようなときはディスクスキャン機能を使って一度全てのディスクをプレイすると表示ができるようになります。
- ディスクマガジンにディスクがセットされていないときも "No Access" と表示されます。

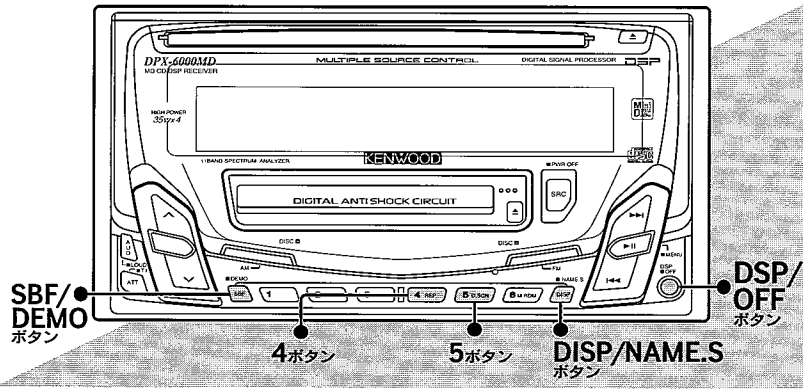
2. 聴きたいディスクが見つかったら、SBF/DEMO ボタンを押します。
選択したディスクを演奏します。

◆ MEMO ◆

途中で解除するときはSBF/DEMO ボタンを1秒以上押します。

DSP/EQUALIZER/ANALYZER CONTROL

DSP/EQUALIZER/ANALYZER CONTROL



DSP —DSP効果をオン/オフする—

●DSPをオンにする

DSP/OFFボタンを押すと「DSP On」と表示され、DSPインジケータが点灯し、DSPモードになります。



◆MEMO◆

交通情報機能オン中はDSP機能は使用できません。

●DSPをオフにする

DSP/OFFボタンを1秒以上押すと「DSP Off」と表示され、DSPインジケータが消えます。

■以降のサウンドフィールド設定、イコライザー設定、スペクトラムアナライザー設定はDSPがオンの状態でを行います。

■10秒間何も操作をしないとDSPモードは自動的に解除されます。

サウンドフィールド設定 —DSP効果を設定する—

1. DSPのオン中に、DSP/OFFボタンを押すと、DSPインジケータが点滅し“DSP CTRL”と表示されて、DSPモードになります。
2. 5ボタンを押すと現在の設定が表示され、押すごとに以下のようにDSP効果が切り替わります。

DSP効果	表示	効果
バイパス	Bypass	DSP効果は加えられません。
スタジアム	Stadium	広大なスタジアム会場での開放感あふれるサウンドを再現します。
コンサートホール	Concert	大会場でのライブの臨場感を再現します。
クラブ ディスコ	Club Disco	小規模のディスコホールのビートサウンドをメリハリよく再現します。
チャーチ	Church	ヨーロッパ伝統の大聖堂の響きを再現します。
リビングルーム	Living Room	リビングルームで聴いているような音の広がり感を再現します。

3. DSP/OFFボタンを押して、DSPモードを解除します。

イコライザー設定 —イコライザーカーブを設定する—

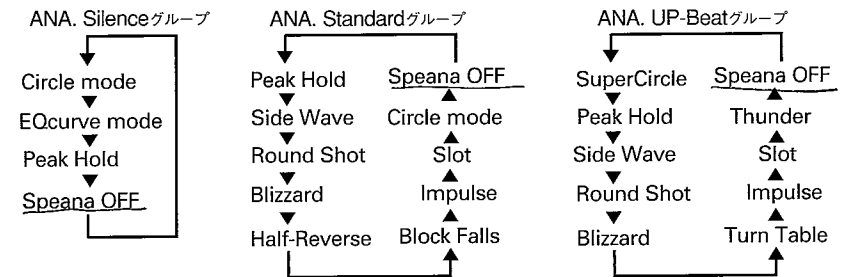
1. DSPのオン中に、DSP/OFFボタンを押すと、DSPインジケータが点滅し“DSP CTRL”と表示されて、DSPモードになります。
2. 4ボタンを押すと現在のイコライザーカーブが表示され、押すごとに以下のように表示が切り替わります。

イコライザーカーブ	表示	効果
フラット	Flat	イコライザー効果を効かせずに自然な音の状態にします。
ポップス	Pops	インストゥルメンタル、ボーカルにメリハリをつけます。
ロック	Rock	高音・低音にメリハリを効かせます。
クラシック	Classic	オーケストラ構成された音楽を聴くのに適しています。

3. DSP/OFFボタンを押して、DSPモードを解除します。

スペクトラムアナライザー選択 —スペクトラムアナライザーの選択をする—

1. DSPのオン中に、DSP/OFFボタンを押すと、DSPインジケータが点滅し“DSP CTRL”と表示されて、DSPモードになります。
2. DISP/NAME.Sボタンを押すと、メニューモード(P.13)のスペクトラムアナライザー設定で設定されているアナライザーグループのアナライザー名が表示されます。押すごとに以下のようにアナライザー表示が切り替わります。



3. DSP/OFFボタンを押して、DSPモードを終了します。

デモンストレーション—スペクトラムアナライザー表示を次々に替えて表示する—

SBF/DEMOボタンを1秒以上押すと、“SPEANA Demo”と表示され、DEMOインジケータが点灯してデモンストレーションが始まります。デモンストレーションがオン中は、スペクトラムアナライザー表示が順次切り替わられて表示されます。何か(任意の)ボタンを押すとデモンストレーションは解除されます。

◆MEMO◆

ALL OFF MODE中と交通情報機能オン中はデモンストレーション機能は使用できません。

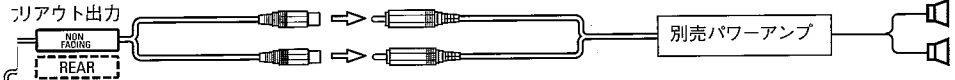
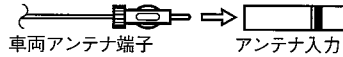
DSP/EQUALIZER/ANALYZER CONTROL

接続のしかた

初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

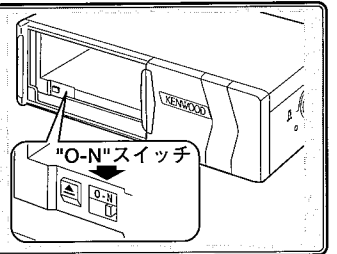
1. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
2. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
3. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
4. 電源ハーネスのコネクターをDPX-6000MDに接続します。
5. 取付終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
6. リセットボタンを押します。

アンテナ端子の形状が異なる場合は別売品の変換コードが必要です。詳細はカタログをご覧ください。



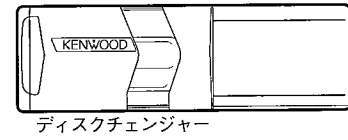
ディスクチェンジャーの“O-N”スイッチについて

- O-N切り替えスイッチのある機種を接続している場合は“O-N”スイッチを“N”側に設定してください。
- CD/MDチェンジャースイッチングユニットKCA-S200を使用して、2台接続する場合は、“O-N”スイッチを“O”側に設定してください。“N”側に設定すると正しく動作しません。



ディスクチェンジャー接続ケーブル（ディスクチェンジャーに付属）

※ ディスクチェンジャーを2台接続する場合は別売品の KCA-S210A をご使用ください。



本機にディマーをかけるための電源入力です。ライトスイッチでオン/オフできる電源へ接続してください。

イルミネーション電源（橙）

ILLUMI

別売品のパワーアンプを接続する場合、パワーアンプのパワーコントロール端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

パワーコントロール電源（青/白）

P.CONT

オートアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテナのブースターアンプの電源端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

アンテナコントロール電源（青）

ANT CONT

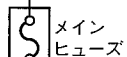


アクセサリ電源（赤）
ラジオ専用電源（エンジンキースイッチのオン/オフに連動する電源）へ接続してください。

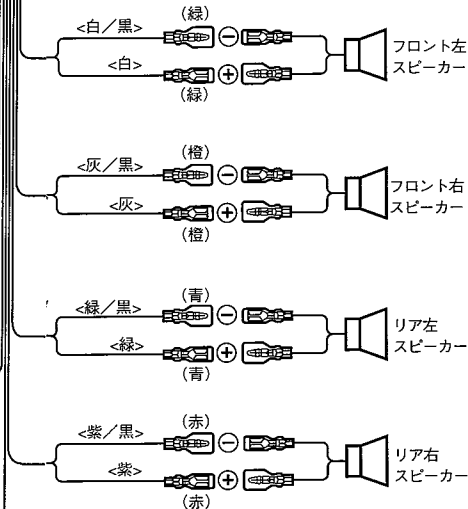
ACC

バッテリー電源（黄）
メインヒューズを通ったあとで、エンジンキースイッチのオン/オフに関係なく常に電圧のかかっている電源へ接続してください。

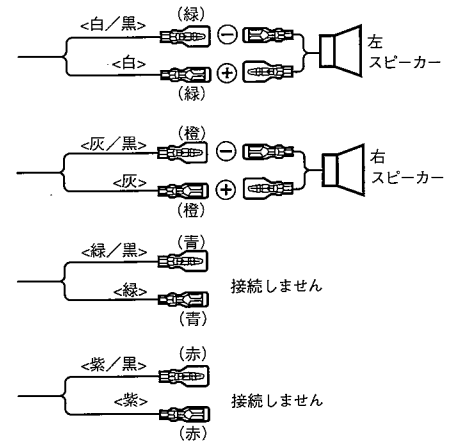
BATT



アース（黒）
車の金属部分（バッテリーのマイナス側と導通しているシャーシなどの一部）へ接続してください。



2スピーカー時のスピーカー接続方法



取り付けかた

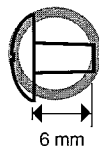
付属のネジ (M5×6 mm) を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。
使用するネジの個数は車種により異なります。



注意

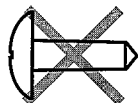
- 取り付け前にCDの動作確認をする場合は、本機を水平な状態にしてCDの差し込み/取り出しを行ってください。
- 取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。
付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。
また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。

付属取付ネジ



6 mm

その他のネジ



付属ネジ一覧

	トラスネジ (M5×6 mm)	6
	バインドネジ (M4×6 mm)	1

バインドネジ (M4×6mm) (付属)

別売品のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のバインドネジで固定します。

車両ブラケットなど

DPX-6000MD

トラスネジ (M5×6 mm) (付属)

トラスネジ (M5×6 mm) (付属)

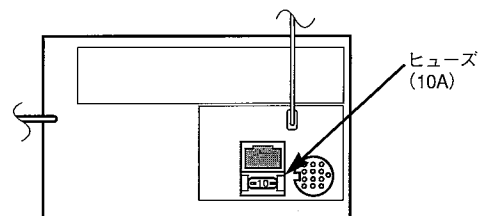
30° 以下

別売品のワイヤリングキットや取付キットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付けの車種に応じて用意されています。くわしくはカタログをご覧ください。

注意

本機の取付角度は30° 以下になるように取り付けてください。30° 以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。

ヒューズ交換のしかた



注意

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量 (アンペア数) の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

故障かな? と思ったら

ちょっとした操作ミスや配線違いなどにより、故障と思われることがあります。修理を依頼される前に、下記の各項目についてチェックしてください。

こんなとき	どうして	こうします
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ヒューズが切れている。 入・出力/電源コードが間違っ て接続されている。 	<ul style="list-style-type: none"> コード類がショートしていないことを確 認後、所定容量のヒューズと交換してく ださい。 “接続のしかた(⇨P.38)”を見て正しく 接続してください。
音が出ない/小さい	<ul style="list-style-type: none"> アッテネーターが オン になっ ている。 音量が最小になっている。 フェダー、バランスが片側に片 寄せた設定になっている。 スピーカーコードが間違っ て接続されている。 結露している。 	<ul style="list-style-type: none"> アッテネーターを解除してください。 音量を適度に上げてください。 フェダー、バランスを調整してください。 “接続のしかた(⇨P.38)”を見て正しく 接続してください。 しばらく放置してから使用してください。
操作スイッチを押しても動作し ない	マイコンが誤動作している。	本機のリセットボタンを押してください。
チューナーの感度が悪い	<ul style="list-style-type: none"> 自動車のアンテナが伸びていな い。 アンテナコントロール電源が接 続されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> アンテナを十分伸ばしてください。 “接続のしかた(⇨P.38)”をみてアンテ ナコントロール電源を接続してください。
MD/CDが入らない	<ul style="list-style-type: none"> すでにMD/CDが入っている。 MDを入れる向きが違う。 	<ul style="list-style-type: none"> すでに入っているMD/CDを取り出してか ら入れてください。 MDのラベル面を上にしてシャッターを右 側にして入れてください。
CDを入れてもすぐ出てしま う	<ul style="list-style-type: none"> CDが裏返しになっている。 CDが異常に汚れている。 結露している。 	<ul style="list-style-type: none"> ラベル面を上にして入れなおしてくださ い。 “CDのお手入れ(⇨P.8)”を見てクリー ニングしてみてください。 しばらく、放置してから使用してくださ い。⇨P.9
音が飛んでしまう	<ul style="list-style-type: none"> 取り付け角度が、30°を越えて いる。 取り付けが不安定になってい る。 MD/CDに傷や汚れなどがつい ている。 	<ul style="list-style-type: none"> 30°以内の角度に調整してください。 しっかりと固定してください。 停車しても同じ部分で音が飛ぶときは、 MD/CDの問題です。CDは“CDのお手入 れ(⇨P.8)”を見てクリーニングしてくだ さい。
MDを入れてもMDモードになら ない	演奏しようとしたMDに何も記録 されていない。	すでに入っているMDを取り出して、記録 されているMDと交換してください。



こんなとき	どうして	こうします
音質が悪い (再生中ノイズが出る)	<ul style="list-style-type: none"> MD/CD自身の音質。 MD/CDに傷や汚れなどがつい ている。 	他のMD/CDを再生して問題がなければ MD/CD自身の音質です。 CDは“CDのお手入れ(⇨P.8)”を見てク リーニングしてみてください。
選曲動作をしても目的の曲に ならない。	トラックランダムプレイモードに なっている。	トラックランダムプレイモードを解除して ください。
音質が悪い(音が歪む)	<ul style="list-style-type: none"> 音量が大きすぎる。 スピーカーコードが車両側のネ ジにかみ込んでいる。 スピーカー配線が間違っ ている。 	<ul style="list-style-type: none"> 適正音量で使用してください。 スピーカー配線をチェックしてください。 スピーカー出力端子をそれぞれのスピー カー端子に接続してください。
エンジンキーをOFFにすると、 メモリー内容が消えてしまう	バッテリー電源が所定の場所に 接続されていない。	“接続のしかた(⇨P.38)”を見て正しく 接続してください。
DSP効果が得られない	<ul style="list-style-type: none"> フロントスピーカーが接続され ていない。 フロント出力とリア出力が逆に 接続されている。 スピーカーの⊕と⊖が逆に接 続されている。 フェダー、バランスの調整が片 側に片寄っている。 	<ul style="list-style-type: none"> フロントスピーカーを接続して下さい。 “接続のしかた(⇨P.38)”を見て正し く接続してください。 “接続のしかた(⇨P.38)”を見て正し く接続してください。 フェダー、バランスをセンターに設定し てください。

故障かな? と思ったら

●ディスクチェンジャー（別売）を接続しているとき

こんなとき	どうして	こうします
ディスクチェンジャーモードにならない	本機のチェンジャー入力が接続されていない。	本機のチェンジャー入力を接続してください。
操作スイッチを押しても動作しない	マイコンが誤動作している。	本機のリセットボタンを押してください。
ディスクの演奏が始まらない	電源がオンになっていない。	SRC/PWR OFFボタンを押してディスクチェンジャーモードにしてください。
指定したディスクが演奏されない	<ul style="list-style-type: none"> ディスクが異常に汚れている。 ディスクが裏返しになっている。 ディスクが2枚同じ場所に入っている。 ディスクの入れた場所と指定No.が違う。 ディスクに大きな傷がある。 	<ul style="list-style-type: none"> “CDのお手入れ”をしてください。 ⇒P.8 マガジンをイジェクトしてディスクを正しく入れ直してください。 マガジンをイジェクトしてディスクを正しく入れ直してください。 マガジンをイジェクトして指定ディスクのNo.を確認してください。 他のディスクを使用してください。
チェンジャー表示はするが音がでない	<ul style="list-style-type: none"> 音量が最小になっている。 アッテネーターがONになっている。 マイコンが正常に動作していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 音量を適度に上げてください。 アッテネーターを解除してください。 本機のリセットボタンを押してください。
選曲動作をしても目的の曲にならない	トラックランダムプレイ/マガジンランダムプレイモードになっている。	トラックランダムプレイ/マガジンランダムプレイモードを解除してください。

●以下の表示でシステムの状態をお知らせします。

- Eject :** ディスクマガジンがセットされていない。
ディスクマガジンが完全に入っていない。
など
- No Disc :** ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。
- Error 04 :** ディスクが異常に汚れている。
ディスクが裏返しになっている。
ディスクに傷が多く付いている。
ディスクが入っていない。
トレイが入っていない。
- Error 77 / Error 99 :** 何らかの原因で正常に動作していない。
⇒本機のリセットボタンを押してください。押ししても、なお“Error 77”、“Error 99”の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- Hold :** ディスクオートチェンジャーの内部温度が60℃以上になると保護回路が動き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
⇒ディスクオートチェンジャーまたは本機の取り付け場所の温度を下げてから使用してください。
CDプレイヤー部の内部温度が60℃以上になると保護回路が動き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
⇒本機または接続機器の取り付け場所の温度を下げてから使用してください。
- No Name :** ステーションネームプリセットされていない放送局を受信中に、ステーションネーム表示にしようとした。
ディスクネームプリセットされていないディスクを演奏中に、ディスクネーム表示にしようとした。
長時間バッテリーを外していた後に、ステーションネーム/ディスクネーム表示にしようとした。
- No Title :** トラック/ディスクタイトルが記録されていないMDを演奏中に、トラック/ディスクタイトル表示にしようとした。
- No Text :** CDテキストが記録されていないCDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。
- No Track :** 演奏しようとしたMDにトラックが1つも記録されていない。
⇒ Changer Mode: 次のMDを自動的に演奏します。
⇒ MD Mode: ALL OFF もしくは、Tuner Mode になります。
- Blank :** 演奏しようとしたMDに何も記録されていない。
⇒ Changer Mode: 次のMDを自動的に演奏します。
⇒ MD Mode: ALL OFF もしくは、Tuner Mode になります。
-  **IN (点滅)** : MDプレイヤーが正常に動作していない。
⇒ MDを入れ直してください。
-  **IN (点滅)** : CDプレイヤーが正常に動作していない。
⇒ CDを入れ直してください。

MDやCDが取り出せないときやMDやCDを正しく入れなおしてもインジケーターが点滅したままの場合は、電源をオフにしてお近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

保証とアフターサービス

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。(別紙“ケンウッドサービス網一覧表”をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により**有料**にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
(本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクはあらかじめ取り出してください。)
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ(有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

- 技術料:故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代:修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲(周波数ステップ)	76.0~90.0 MHz (100 kHz)
実用感度(S/N:30 dB)	9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
S/N 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
周波数特性(\pm 3.0 dB)	30 Hz~15 kHz
S/N比(dB)	75 dB (MONO)
選択度(\pm 400 kHz)	80 dB以上
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲(周波数ステップ)	522~1629 kHz (9 kHz)
感度	28 dB μ (25 μ V/75 Ω)

MDプレーヤー部

レーザー	GaAlAs(ダブルヘテロダイオード、 $\lambda=780$ nm)
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
回転数	900~400 rpm(線速度一定)
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	20 Hz~20 kHz
高周波歪率	0.01 % (1 kHz)
S/N比(dB)	90 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	90 dB
チャンネルセパレーション	80 dB

CDプレーヤー部

レーザー	GaAlAs(ダブルヘテロダイオード、 $\lambda=780$ nm)
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
回転数	500~200 rpm(線速度一定)
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	10 Hz~20 kHz
高周波歪率	0.01 % (1 kHz)
S/N比(dB)	93 dB
ダイナミックレンジ	93 dB
チャンネルセパレーション	85 dB

オーディオ部

最大出力	35 W \times 4
定格出力	21 W \times 4 (4 Ω 、1 kHz、10%THD)
プリアウトレベル(FM)	1500 mV / 10 k Ω
プリアウトインピーダンス	600 Ω 以下
トーンコントロール(バス)	100 Hz \pm 10 dB
トーンコントロール(トレブル)	10 kHz \pm 10 dB

電源部

電源電圧	14.4 V (11~16 V)
最大消費電流	10 A

寸法・質量

埋込寸法(W \times H \times D)	178 \times 100 \times 155 mm
質量(重さ)	2.7 kg

付属部品

電源ハーネス	1本
トラスネジ(M5 \times 6 mm)	6本
バインドネジ(M4 \times 6 mm)	1本

*これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。